



宮崎南週報



奉仕の心を行動に

宮崎南ロータリークラブ
会長 千葉百合子

第1878回例会 2016.6.13

会長／千葉百合子 幹事／山崎栄一郎
副会長／丸山一郎 会報／戸高勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／奉仕の理想
ロータリーの目的

会長挨拶

千葉百合子会長

 今週は蓮田 R C との合同例会が土、日曜日に京都で行われます。会員21名楽しい旅になる事を望みますが、友好クラブから3年、蓮田からの申し出で姉妹クラブとの提案が有り、この調印式も行われますが、どうしたもんじやろうのう…。てな感じです。

大迫パストガバナーが体調不良のため京都行きは見送られましたが、大迫パストガバナーの分もがんばって参ります。行かれなかった方々のために色々と見聞を広めげて参ります。

幹事報告

山崎栄一郎幹事

 4月14日に発生しました熊本大分地震に対し、義援金の御礼が届いております。

その他

次年度幹事より

井上竜二次年度幹事

 入会候補者ご紹介のお願いをボックスに入れております。会員増強の為、ご協力をお願いします。

出席委員会報告

重松芳文委員長

出席状況

本日状況	
会員数	(39) 41名
本日欠席者数	6名
本日出席者数	35名
出席率	89.74%

前々回状況	
会員数	(37) 40名
ホームクラブ出席者数	28名
メークアップ数	2名
修正出席者数	30名
修正出席率	81.01%

●前々回メークアップされた方／安川潔会員、湯地浩隆会員

ニコニコ BOX 0件 累計 175,956円

募金箱 5,702円 累計 157,409円

年度末委員会報告

大迫三郎委員長



高山さん、甲斐さんと3人での委員会です。2730地区の次期研修リーダー、パストガバナーとして地区研修協議会、次期会長研修会、地区チーム研修会、鹿児島西部、宮崎西部などの分区毎のIM、クラブからの召へいの卓話など、多くのロータリー情報、研修を行って来ました。私のリポートによる職業奉仕とロータリーの魅力を中心に、特にロータリーの基本は「職業奉仕」であること。この基本は仕事を通じて、売り手良し、買い手良し、世間良しの三方良しを伝えて参りました。職業奉仕から生まれる社会奉仕は、国際奉仕や青少年奉仕と発展しています。

奉仕を学ぶロータリーの最終目標は人格の向上とステータスの保持です。

職業奉仕委員会

山本典広委員長



今年度の活動としましては、会員の職場訪問の一点しか出来ず、誠に申し訳なく思っております。

Rotary ロータリー情報

会員増強の意義 (Significance of Membership Development)

- ①毎年会員の自然減が5~10%とみられる。このためにも毎年新しい会員の補充が必要。
- ②組織を生き生きとさせるためには常に新しい血の導入が必要。
- ③クラブ活性化のため、老、壮、青のバランスを保ち、若返りが必要。
- ④会員増強と拡大は、毎年RI会長の最重要課題となっている。その課題に取り組むのは当然。
- ⑤誰かの推薦によって自分は入会したので、この特典を他の人にも分ち合いたい。

社会奉仕委員会

日高勇二委員長



主な活動

1. 安井息軒顕彰会活動支援

昨年度より、活動支援を行っておりまして、昨年度はオリックスがキャンプを張っているSOKKENスタジアムにSOKKENスタジアムの由来である安井息軒の功績を記した案内板を寄贈したところであります。本年はその隣に、森鷗外の小説「安井夫人」の里として、安井息軒夫人お佐代さんの事を記した案内板を宮崎市に寄贈しました。その功績で1/13に宮崎市長より感謝状をいただきました。

2. 少年少女球技大会(8人制サッカー大会)の支援

平成20年3月に開催したフットサル大会から、少年少女サッカー大会を開催しています。現在は8人制サッカー大会を開催しており、今年度は、平成28年3月21日に開催し、その支援を行いました。

3. 地域社会のニーズに即した新たな社会奉仕活動の模索

今年度は、本年4月から小学校に入学されました、児童養護施設の子どもたち5人に、11/30にランドセルをプレゼントいたしました。

青少年奉仕委員会

松本佳士委員長



3月21日、木花総合運動公園にて球技(サッカー)大会開催。当日は若干寒かったものの晴天に恵まれ、大きな事故も無く盛大に終了することができました。参加、お手伝い頂いた会員の皆様有難うございました。

国際奉仕委員会

安川 潔委員長



1月31日から2月1日の旅程で、タイ北部のチェンライに、大田会員と行ってまいりました。

蓮田ロータリークラブと宮崎南ロータリークラブの共同事業で、ロ・パーカー小学校にパソコンを10台寄贈しました。学校の給食をいただいたり、子どもとの交流も出来、貴重な経験をさせていただきました。

米山奨学委員会

坂田 勝委員長



今年度の米山記念奨学の委員長を務めました坂田です。結論から申しまして何も出来ませんでした。平成27年9月20日午後16:00まで米山記念奨学事務局長の岩邊

俊久氏の基調講演があり、米山梅吉氏が滞米8年の働きながら苦学生体験の中から米山記念奨学事業が生まれたようです。この事業は全国ロータリー会員の寄付を主たる財源とし運営されるので、寄付をどのような方法で行うか、次年度の委員長の田中先生に期待したいと思います。ありがとうございました。

会員増強・分類選考委員会 開地俊昭委員長



40名スタートで、5名の純増を目指していましたが、結果的に5名の新会員はできましたが、4名の退会者が出て、また、1名の入替りがおきる為、結果的に増減0でございました。会員を増加するのは、大変だと思います。これからも全体事業としてやっていければと思います。

本日のプログラム

会員卓話

誕生月卓話

山崎栄一郎会員



来週の6月22日で43歳になります。今年度ロータリーでは幹事としてやって参りましたが、今日の卓話は私自身の1年間をロータリー活動、家庭や仕事の部分の反省点をふまえながらお話ししていきたいと思います。まず、仕事なのですが、経営はおかげさまで順調で、従業員も少しですが増え、売り上げも少しですが増やす事ができました。5月末が決算だったので先月はロータリーも忙しかったですが仕事の処理に追われて、あっという間に終わってしまいました。家庭では3人の子供達がみんな年子で高校生になりました。年度初めの4月になると毎年、入学金等まとまったお金の出費があるので結構大変です。高校2年生の修学旅行ではロサンゼルス旅行に40万円かかりました。来年は娘の修学旅行費で同じくかかりそうです。ロータリーでは幹事という役職がら、今年度は常にロータリーに優先順位をおいて生活してきました。積極的にやってきたおかげで得た知識は私の財産になったと思っています。来年はインタークト委員会の委員長となります。勉強だと思ってがんばってみたいと思います。